

津山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	地域連携演習
科目基礎情報						
科目番号	0031		科目区分		専門 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科	電子・情報システム工学専攻		対象学年		専2	
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	教科書, 教材等 各種行事の開催案内, 講座のテキスト等					
担当教員	中村 重之					
到達目標						
学習目的:地域密着型の教育機関である本校の果たすべき役割を知るとともに小中学生に科学・技術や実験の面白さを伝えることにより, 各自の知識や技術を再確認し研究や学習の新たな展開を図るための一助とする。 地域企業等からの依頼による課題の解決に寄与する。						
到達目標 ◎地域社会と連携した協働活動を通じて, クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価できる ◎一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明, 伝えることができる						
ルーブリック						
	優	良	可	不可		
評価項目1	クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価でき るだけでなく, 新たな問題提起・提案ができる。	地域社会と連携した協働活動を通じて, クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価できる。	地域社会と連携した協働活動を通じて, クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践できる。	クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践できない。		
評価項目2	自ら教材を提案・作製し, 一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明し伝えることができる。	与えられた教材を用いて, 一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明し伝えることができる。	与えられた教材を用いて, 一般市民にも専門的な知識や技術を説明し伝えることができる。	与えられた教材を用いても一般市民に専門的な知識や技術を説明し伝えることができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	一般・専門の別:専門 学習の分野:自然科学系共通・基礎 必修・選択の別:選択 基礎となる学問分野:工学・社会科学 専攻科学学習目標との関連:本科目は専攻科学学習目標「(6)校外実習, 先端技術特別講義や学協会への参加を通じて, 地域社会との連携を図るとともに, 地球的視点からものを見ることの大切さを理解していること」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連:本科目の学習・教育到達目標は主として「(H) 地域社会との連携による総合能力の展開, H-1: 地域社会との連携した学習や研究などの協働活動をとおして, 専門分野を理解し (もしくは専門的観点から生産システムを理解し) , 説明できること」であるが, 付随的には「A-1」, 「D-3」にも関与する。内容は多岐にわたるので, (B) 地球的視野に立った人間性の育成, (F) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力の育成にも関連する。 授業の概要:今まで学習してきた知識や技術を活かして, 公開講座等を通じて地域社会に貢献する。知識を深めるとともに視野を広げ, 社会とのかかわりや技術が社会に及ぼす影響について広く学ぶ。					
	授業の方法:本校の関わる公開講座や出前授業, オープンキャンパス, 地域イベント等へ積極的に参加して担当教員に協力し, 実施後に指定された報告書を提出する。 成績評価方法:単位認定願の提出があった者に対し, 行事の報告書 (レポート) により評価する。評価は「合否」とし, 年度末の専攻科運営委員会を経て単位認定を行う。					
注意点	履修上の注意:本科目は「授業時間外の学習を必修とする」科目である。従って30単位時間の授業 (演習) と授業以外に15単位時間の学習が必修となる。 履修のアドバイス:各自の専門を活かして地域社会に貢献するとともに, これにより知見を広げる努力をすることが大切である。 2年間に亘って履修可能な科目である。 基礎科目:これまで学習してきた科目全般 関連科目:全ての科目 受講上のアドバイス:主として, 地域社会と関わる授業となるので, 実施に際しては本校学生としての自覚を持って行動すること。 自分の専門分野以外にも積極的な協力を期待している。本科目の関係する行事等は担当教員に確認すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	行事への支援 30時間以上			
		2週	● 本校の関わる公開講座や出前授業, オープンキャンパス, 地域イベント等での指導と支援			
		3週	● 複数の行事に合計30時間以上協力し, 決められた報告書 (レポート) を提出すること(実施時間に移動時間は含めない) 。			
		4週	合 計 30時間以上			
		5週				

		6週	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項) : ● 行事の予習, 準備, 後片付け (準備日を設けて準備を行った場合は, 授業時間を含めても良い) ● 決められた報告書の作成 (書式は別途指示)	
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	報告書	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	70	0	0	0	0	0	70